

## 古田嘉章氏文書(2)概要

1: 文書群番号	091006-1
2: 文書群名	古田嘉章氏文書(2)
3: 出所	古田嘉章家
4: 家業・役職等	近世：時友村庄屋 近代：時友村戸長
5: 地名	摂津国武庫郡時友村／兵庫県武庫郡時友村／武庫郡武庫村時友／尼崎市時友／尼崎市武庫之荘9丁目
6: 行政区分	幕府領／尼崎藩領／兵庫県第8区／常吉組戸長役場／武庫村／尼崎市
7: 歴史	時友は武庫地区の大字で、市域北西部に位置する。史料上の初見は応永29年(1422)で、「野間庄内時友名」とある。隣村の友行も同荘の名田であり、中世から近世にかけて野間荘が野間・友行・時友の3村に分離していったものと考えられる。村高は「慶長十年摂津国絵図」で268.92石、「元禄郷帳」「天保郷帳」では307.973石である。寛文9年(1669)頃の青山氏領地調では家数40・人数222、「天明九年御巡見様御通行御用之留帳」では、家数45・人数233となっている。 古田家は近世には時友村庄屋を、近代には時友村戸長を務めた家である。
8: 伝来	平成8年(1996)10月、古田氏より寄託。
9: 史料入手先	古田順規氏(原蔵者子息)
10: 点数	377点(目録件数272件)
11: 年代	正徳4年(1714)～昭和29年(1954)
12: 構造と内容	本文書群は①近世の時友村関係、②近代の時友村関係、③古田家の私的文書からなる。①には年貢関係、村入用関係、金銭借用証書類、水利関係などがある。②は地券・地租関係、支配金惣寄せ帳、協議費関係、小学校費関係、日役関係帳面、社寺関係、水利関係など。③は私信類である。
13: 関連史料	古田嘉章氏文書(1)(3)
14: 閲覧条件	原本
15: 作成者	中村由佳